

～できるかな？やってみよう！～ R2. 11. 4

最近、園庭遊びでは、ロッククライミングやうんていなどの固定遊具に挑戦している姿があります。友だちがやっている姿を見て《自分もやってみたい》と思い、挑戦する子も多いです。そこで、体を動かす楽しさや【できた】という達成感を味わってほしいと思い、室内でも運動できる環境を設定しています。

ジャンプ台



はしご渡り

やったーついた！

立っていけるかな？

はしご渡りは、両手両足を使うために四つん這いになります。また、足場が細いということもありバランスをとって前へ進まなければなりません。友だちがどのようにしているかなどを見ながら自分のペースで一歩一歩進みます。はしごの両端が太いこともあって細い部分だけでは、上手くバランスが取れない子は横向きに渡ったり工夫して渡っています。個性的で面白いです。少し傾斜をつけることで、難易度は上がりますが、怖がる子はおらず、登るのも降りるのも上手になってきました。

ジャンプ台では、ヒーローになりきるのが楽しくて「とう！」と言いながらジャンプしています。自分で着地点を遠いところに設定し、「あそこまで飛ぶ」と宣言しています。ジャンプに集中し、勢いをつけるために腕をふり膝を曲げて意気込んでいます。保育教諭がタンバリンを用意すると、タンバリンめがけて音を鳴らすことを楽しんでしています。そのうち、「もっと上にして」とタンバリンの位置の高さを指定して高く飛ぶことを楽しむ子も増えてきました。高く飛べるととても満足そうにしています。友だちが高く飛ぶと「もっと高く」と競争心が芽生えています。その子一人一人に合わせた高さで楽しんでしています。



もっと上にして！

届かなー？



ジム(わんぱくといで)

側面は、ロッククライミングになっていて手足に力を入れて登ります。1mくらいの高さなので、ジャンプも楽しんでしています。保育教諭の手を借りてジャンプしていた子も何回も繰り返すうちに自分でジャンプ出来るようになりました。

ケンケンパ

両足を使い、グー、パーと跳ぶことを楽しんで進んでいく子、片足でささっと進んでいく子もいます。「けんぱ、けんぱ、けんけんぱ」と言いながら嬉しそうに進んでいく子もいます。

